

# 月刊 桜井シュウ

三ツ星議員★★★★

立憲民主党兵庫県第6区総支部 政務活動報告 **171号**



**物価高、食料品消費税をゼロ%に!**  
**外国人観光客の消費税免税を廃止に!**  
**外為特会を新たな財源に!**  
**ホントに大丈夫?日本の財政。**  
**公選法改正、まずはポスター問題対策**

**桜井 周** (さくらい しゅう)

[学歴] 美鈴月影幼稚園、鈴原小、南中、県立伊丹高、京都大、京都大院修士、ブラウン大院修士

[職歴] 国際協力銀行勤務、市議会議員(2期)、衆議院議員(3期目)、弁理士、行政書士

[家族] 妻、長女、次女、犬(トイプードル)



**桜井シュウはSDGs基本法案を作成し国会に提出!**



2025年 **3** 月号

## 物価高対策、食料品消費税をゼロ%に!

総務省が公表した2025年1月分(公表日:2月21日)の消費者物価指数によれば4.0%(前年同月比)上昇。うち、光熱・水道が11.2%上昇、食料が7.8%上昇と家計を圧迫しています。食料の中でも生鮮食品は21.9%上昇、米が71.8%上昇、穀類全般で18.4%上昇など値上がりが続ぎ、暮らしを直撃しています。そこで、桜井シュウは、食料品にかかる消費税のゼロ%への引き下げや、ガソリン税の暫定税率分(25.1円/ℓ)廃止による減税など暮らしに寄り添う政策を提案しています。

一方、税制改正の議論では、「年収の壁」として所得税の基礎控除額の引上げに注目が集まっています。当初は「働き控え」の解消が目的であったのが、最近では減税が目的になっています。所得税の基礎控除額の引上げは高所得者への恩

### 所得税法等改正政府原案での減税額 (年収別)

年収	300万円	600万円	1,000万円	2,000万円
減税額	5千円	1万円	2万円	3万4千円

恵がより大きくなります。政府原案の減税では、年収300万円なら減税額5千円、年収2,000万円なら減税額3万4千円というように、高所得者は約7倍もの減税になります。物価高の今、必要なのは、金持ちへの減税よりも庶民への減税です。



# 庶民に寄り添う物価高対策を!

政府と日本銀行は経済・金融政策の決定にあたっては消費者物価(生鮮食品を除く)を参照してきました。生鮮食品は豊作や天候不順など一時的な要因で価格が乱高下します。経済情勢を的確に把握するためには攪乱要因を除外する必要があります。

しかし、近年は地球温暖化により天候不順が多発し、生鮮食品など食品全般の価格が高止まりしています。生鮮食品は購入頻度が高く、物価高を実感しやすい品目で、消費者行動に与える影響は大きいと考えられます。そこで、桜井

	2024年12月	2025年1月
生鮮食品を含む総合	3.6%	4.0%
生鮮食品を除く総合	3.0%	3.2%

(消費者物価指数 前年同月比)

シュウは、衆議院財務金融委員会において、日本銀行の植田和男総裁に、政策決定に参照する消費者物価について「生鮮食品を含む」を参照することを提案しました。植田総裁は、消費者心理に影響を与えるリスクがあるとして、生鮮食品の価格動向を金融政策の運営で考慮すると答弁しました。

# 外国人観光客の消費税免税を廃止に!

大阪や神戸の繁華街には「免税」の看板を掲げる量販店がアチコチにあります。しかし、私たち日本人が免税になるワケではありません。免税対象は外国人観光客です。海外への輸出品には消費税は課税されないこととなっています。それは、外国人旅行者が購入する商品については本国に持ち帰って使用するものであれば輸出品と同じ扱いにする、との理屈なのです。また、外国からの観光客を増やすという観光業の振興のためでもあります。

しかし、現状では免税で購入した商品を横流

しするなど不正があとを絶ちません。また、円安で外国人観光客にとって日本国内で売られているモノは十分に安くなっているため、消費税10%を免税する必要性は薄くなっています。逆に観光客による混雑(オーバー・ツーリズム)による問題すら生じています。したがって、桜井シュウは外国人観光客にも消費税を納めていただくこと、つまり免税は廃止することを提案しました。これにより、年間2,000億円以上の税収増が見込めます。

# 外為特会を新たな財源に!

外国為替資金特別会計(外為特会)は、通貨防衛など為替介入のための外貨を保有する政府の勘定です。かつて日本は行き過ぎた円高(1ドル=80円超)で輸出産業が困難に直面したことがあり、円高是正のために円売りドル買いの為替介入を行いました。この過程で貯め込んだ大量のドルをアメリカ国債などで運用しており、利子収入だけでも4兆円を超えます。利子収入

のうち7割は一般会計に繰り入れていますが、残りの3割は外為特会に留保しています。

今、日本は行き過ぎた円安による輸入物価インフレで国民生活が苦しくなっています。桜井シュウは、残りの3割にあたる1兆円超を一般会計に繰り入れて、学校給食の無償化など子育て支援・教育・福祉に活用することを提案しました。

# ホントに大丈夫？ 日本の財政。

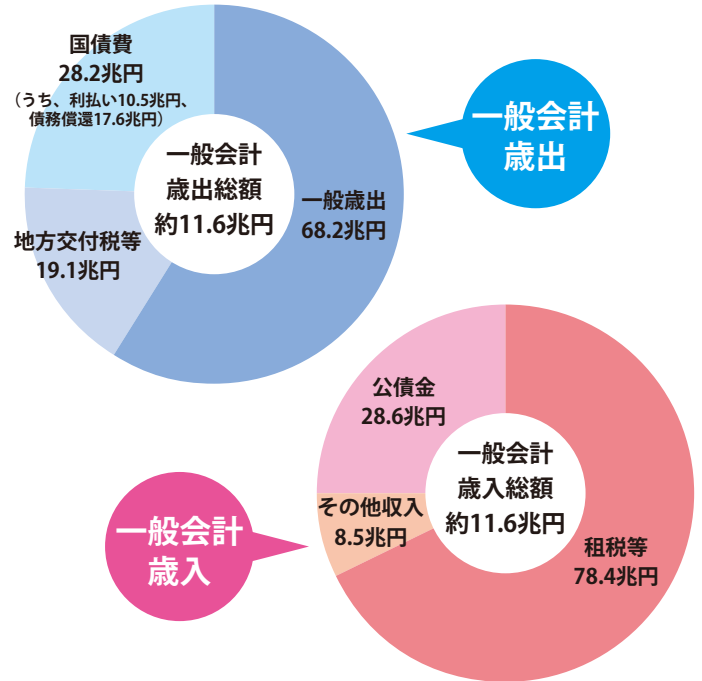
「税金は過去最大なんだから国民に還元すべき(=減税すべき)」という意見を聞きます。確かに、税金は過去最大ではあります。ですが、歳出も過去最大ですので、借金依存であることには変わりません。借金返済が17.7兆円で利払いが10.5兆円と合計28.2兆円です。公債金(借金の新規借り入れ)は28.6兆円です。過去の借金の返済と利息の支払いのために、新たに借金している状態です。

「国債は日本銀行に買わせればいい(=日本銀行からお金を引き出せばいい)」という意見も聞きます。この10年余りはアベノミクス(=異次元の金融緩和)の下、日本銀行に国債を大量に引き受けさせてきました。その金融緩和の結果が、悪い円安と物価高です。税金で負担しなければ、インフレでツケが回ってくる(=インフレ税)ことになります。

「日本の個人金融資産は2,000兆円以上あるから、国の借金が1,100兆円あっても大丈夫」という意見も聞きます。現状は国民が銀行や生命保険を通じて国にお金を貸している状態です。ですが、国民がいつまでも国に貸し続けるとは限りません。実際、昨年からは新NISAがスタートし、海外での資産運用が急増しています。海外への資金流出が円安の一因との指摘があります。海外での高い利回りと円安による為替差益のダブルで美味しいとなると、海外投資が増加し、円安が加速しかねません(=キャピタル・フライト)。円安→物価高で暮らしはますます厳しくなります。

経済学では、no free lunch(タダ飯はない)といいます。「財政規律」というと、インターネット上では「ザイム真理教」などと言われてバッシングされることがあるようです。ですが、国民生活を守るためには、「物価を抑える、給料を上げる」が基本です。桜井シュウは、国

## 令和7年度一般会計予算 歳出・歳入の構成



民の暮らしを守るために力を尽くします。

「1,100兆円もの借金をどうやって返すのか? 増税ですか? そんなの無理!」という意見も聞きます。この30年の自民党政権が作った1,100兆円もの借金を一気に返済するのはムリですし、そんな必要もありません。問題は、元本よりも利払いです。利払いできる範囲の借金に留めることです。借金が1,100兆円だと金利が1%上昇しただけでも利払いが11兆円増えることになります(金利変動は借換え時に反映されるので、タイムラグがあることに留意)。厳しい状況ではありますが、借金の元本をこれ以上には増やさない、支払い能力を高めるために経済を成長させて国民を豊かにする、が基本です。

桜井シュウは、かつて銀行で国際金融を担当していました。1997~1998年のアジア通貨危機では、財政破綻の恐ろしさを経験するとともに、その後の財政再建と経済再生にも関わりました。日本の現状に危機感を持ちつつも、経験を活かして日本の経済と暮らしを立て直します。

# 公職選挙法改正、まずは公営掲示板ポスター問題から

昨年執行された選挙で公職選挙法の課題が露呈しました。4月の衆院補選東京15区では、ある候補者が拡声器を使って別の候補者の街頭演説を妨害するなどの事件がありました。7月の東京都知事選では、公営掲示板に選挙とは無関係と思われるポスターが大量に掲示されました。11月の兵庫県知事選では、知事になるつもりがないのに他の候補者を応援するために立候補した者があられ、またSNS等で偽情報が拡散されました。

桜井シュウは立憲民主党の公職選挙法ワーキング・チーム座長として公職選挙法改正に取り組

んでいます。2月の公職選挙法改正では、公営掲示板に広告の掲示を禁止するなどの規定を盛り込みました。残る課題についても引き続き取り組みます。

選挙は国民の良識に基づいて行われるものとされ、公職選挙法は性善説に基づいて制度設計されています。しかし、性善説をあざ笑う行為が横行するのであれば、性悪説に基づく厳格な規定を設けざるをえません。公正な選挙を通じて健全な民主主義の発展に寄与し、もって国民生活を向上させるべく、桜井シュウは力を尽くします。

## 【案内】青空対話集会

3月23日、4月27日、5月25日に開催！

(毎月第4日曜日に宝塚・川西・伊丹で開催)

11:00~12:00 阪急宝塚駅 西側 ゆめ広場

14:00~15:00 川西能勢口駅 アステ川西デッキ

16:00~17:00 阪急伊丹駅 北側ロータリー

屋外での集会ですので、雨天の場合には中止します。

## 【報告】2025年 春季議員インターンシップ(第28期)

若者に政治への関心を持ってもらうため、桜井シュウは毎年、大学の春休みと夏休みに議員インターンシップを実施しています。今春は5名の学生が参加しています。この経験を通じて大きく成長されることを期待します。

## 三ツ星議員★★★★とは

活動量の多い国会議員に与えられる称号です。政策を評価するNPOが、全ての国会議員について、①議員立法の提案、②本会議・委員会での質問数・質問時間、③質問主意書の提出数などに基づいて評価するものです。桜井シュウは6回表彰を受けました。

発行者 立憲民主党兵庫県第6区総支部長・衆議院議員

桜井 シュウ

〒664-0858 伊丹市西台5-1-11

TEL▶072-768-9260

FAX▶072-768-9261

e-mail▶sakuraishu.office@gmail.com

URL▶https://www.sakuraishu.net



## 桜井シュウの政治活動へのご協力をお願い

### ●ポスティング

伊丹市・宝塚市・川西市の各ご家庭に配布しております。ご近所周辺など可能な範囲・枚数だけで結構ですので、ご協力をお願い致します。

### ●ポスター掲示

ご自宅の塀・外壁、駐車場のフェンスなどに桜井シュウのポスターを貼って下さい。またご近所に人通りが多く、ポスターを掲示していただけた場所がありましたらご紹介下さい。

### ●政治献金

一人でも多くの方に国政報告をお届けするために、カンパをお願い致します。お振込みいただく場合は、恐れ入りますが手数料のご負担をお願い致します。

(※個人献金ができるのは日本国籍を持つ方に限られます。)

### ■お振込先:

三井住友銀行 伊丹支店 普通4719556「桜井周後援会」  
ゆうちょ銀行 00970-8-332979「周山会」

ご意見・ご相談、お気軽にご連絡下さい! ※直接書き込んで(別の様式でも可)ファックスやメールで送り下さい。

お名前▶

お電話番号▶

ご意見▶

CP 立憲民主  
The Constitutional Democratic Party of Japan

立憲民主党  
立憲民主編集部

〒100-0014  
東京都千代田区  
永田町1-11-1

TEL 03-6811-2301  
FAX 03-6811-2302

兵庫県第6区版